

3-04 ブレード・ピッチ

1 ブレード・ピッチ

●ブレードの面と鉛直面のなす角度を、ブレード・ピッチといいます。ブレード・カバー角といわれることもあります。ブレードの水中での安定性を決定します。ブレード・ピッチは、次のような要素で変化します。

- ①オールロックのソールピンの傾き（軸の前傾角と外傾角）
- ②オールロック固有のカバー角（5° 前後）
- ③オール固有のカバー角（0～2° 程度）
- ④艇の傾き（前後方向のピッチングやトリムと、左右方向のローリングやバランス）
- ⑤ドライブにおけるソールピンの剛性/たわみの影響。
- ⑥オールロックとオールのスリーブの整合性
- ⑦ローイングにおけるオールシャフトのねじれ

2 計測方法

●ピッチの計測は、艇を水平に置くことが大切です。そしてまず、パーツごとに測ることが必要です。軸（ソールピン）の前傾・外傾を測定し、次にオールロックをセットして、オールロックの固有角を計測します（詳細は実地で覚えましょう）。また、オール固有のピッチは、それぞれのブレードに適合した計測方法で測定します。（オール・メーカーのウェブサイトなどにも載っているのでここでは省略します。）

●最終的に組みあがったら、直接、オールをセットして計測し確認します。補助が必要ですが、ブレード・ピッチを直接測ることは有効です。キャッチ、ミドル、ファイナルの3ポイントだけでなく、中間も測ることが大切です。

3 変動範囲と調整方法

●ピッチを調整する方法は、いろいろありますが、ここで説明するのは代表的なものだけです。

3.1 軸の前傾・外傾の調整機構

前傾は、L板の孔のあそびなどを利用して少し調整でき、また外傾を調整できるタイプもあります。調整できないタイプでは、リガーへの取り付けにスペーサを用いたり、ソールピンのベースにテーパになったスペーサを用いたりして調整します。

3.2 オールロック固有ピッチの調整機構

オールロックの固有ピッチの調整機構の最も代表的なものは、ブッシュ（インサート）を交換する機構です。偏芯できるブッシュを選択し、正しくとりつけることで、オールロック固有のカバー角を調整できます。この部分は、間違っていて取り付けられている例が多いので、しっかり理解しておいてください。他に、フェイスを交換するタイプもあります。